

ホイストホルダー 取扱説明書

【品番】 HST-200

この度は、KIKAIYA「ホイストホルダー」をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

- * 本書を最後まで必ずお読みいただき、商品を正しく取り付し ご覧ください。
- * 本書が必要になったとき、すぐ利用できるように大切に保管してください。



コバヤシデンソー株式会社

〒720-0843 広島県福山市赤坂町赤坂 1415-3

(MAIL) info@kikaiya.com

■調査及び修理をご依頼の前に

* 故障とお考えの前に、弊社までご相談ください。

改造により故障及び損傷した場合は修理対応できませんのでご注意ください。

* 調査を依頼される際の送料は、お客様のご負担となりますのであらかじめご了承ください。

■開封時

開封したらすぐに中身を確認してください。

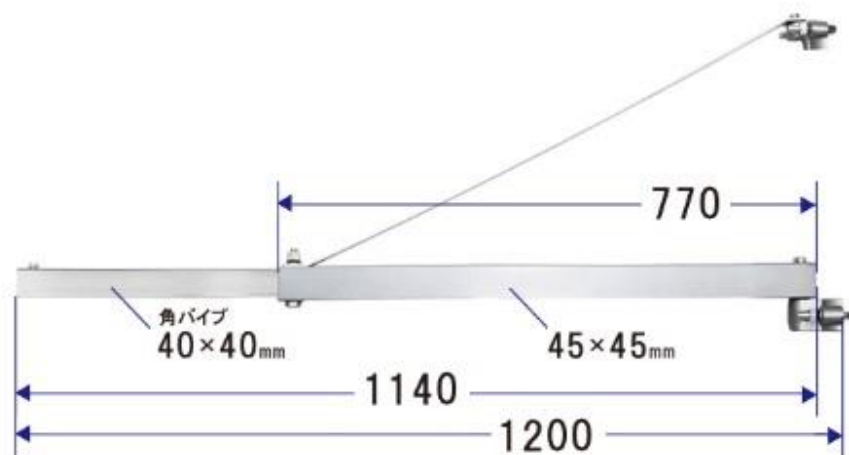
※商品は到着しましたら7日以内に必ず開封して中身をご確認ください

※付属品の欠品、破損、初期不良等がございましたらすぐに販売店にご連絡ください。

■仕様

| | |
|-------------|-------------------------------------|
| 商品名 (品番) | ホイスホルダージブクレーン 200kg/400kg (HST-200) |
| 重量 | 6.5kg |
| 最大能力 | 1段階:400kg/2段階(先端部分):200kg |
| 最大ブーム長さ | 1200mm(最大作業半径 1100mm) |
| ブーム角パイプ寸法 | 1階:45mm/2段階:40mm |
| 取付け可能サイズ | 単管パイプ 48.6mm |
| パイプ取付け金具サイズ | U字型ボルト軸径 10mm/穴ピッチ 70mm |
| 材質 | スチール |

■サイズ

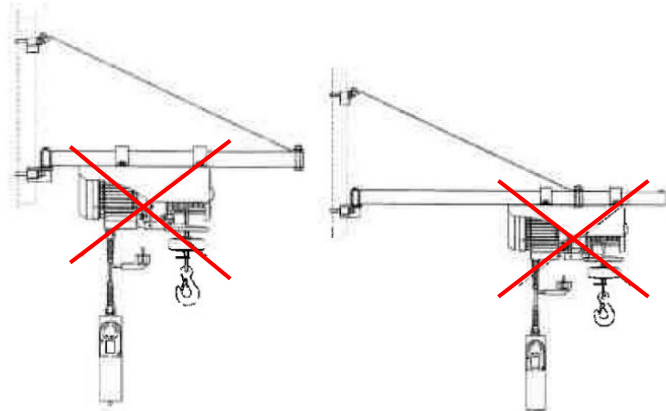




注 意 事 項



- 内容をよく読みよく理解してからご使用ください。安全知識のない方が使用すると危険です。
- 本製品への荷重が定格重量を超えないようにしてください。(重大な事故につながり大変危険です)
- 製品の改造/仕様は変更しないでください。(変更により作業状態の危険要素が増加し大変危険です)
- 人や動物は吊り上げ(持ち上げ)ないでください。
- 1つのフレームに設置できる電動ホイストは1つだけです。
- ホイストフレームの伸縮の組み立て方法と積載重量を(表)L1 とL2 に示します。
作業環境は明るく安全に保つ必要があります。
- ホイストホルダーの作業範囲と近くの人々までの距離は、十分に広く保たれなければなりません。
- 垂直でない角度で荷物を持ち上げないでください。(横引き禁止)
- 積載物の重量が重たい場合は継続的に吊り下げないでください。(荷物は乾いた堅固で水平な垂直面に降ろされるものとします)
- ホイストホルダーの回転機能は、荷吊り前の調整にのみ適用できます。荷物の不安定性を回避するため、荷吊り中でのホイストホルダーの回転はできません。
- 荷物は急に持ち上げないでください。吊り上げ状態に注意しながら、ゆっくりと慎重に持ち上げます。
- フレームが負荷状態にあるときは常に安全監視を実施してください。
- 湿度の高い場所や野外での作業環境では本体を損傷する可能性があります。
- お子様がこの製品に触れないように(作業範囲から遠ざける等し)注意してください。
- 体調の悪い時や、お酒や薬を飲んだ状態では使用しないでください。
- 作業中は保護具(ゴーグル、手袋、安全靴等)を着用するなどし、作業に適した服装でご使用ください。
- 作業中/稼働中の可動機器にぶら下がったりするのは大変危険ですので絶対にしないでください。
- 使用前は全体を確認し、異常がある場合は販売店へお問い合わせください。
- 使用する前には正常に作動する事を確認し、期待した機能を発揮できることをよく確認してください。
- 本製品に磨耗や損傷が見つかった場合は、交換または修理を実施してください。
- 取り付け方法を間違えるとフレーム変形につながる可能性があり、深刻な事態を引き起こす原因となります。
- 荷物が落下して損傷したり、人体に深刻な損害を与える可能性があり大変危険です。
- 使用する前には毎回製品の状態を確認し、ボルトの緩みや位置ずれ、本体の曲がりや破損等がない事を確認し異常がない事を確認してから使用してください。
(異常が発見された場合は使用を中止してください)



■設置方法

※パーツリストを確認して部品の数量を確認してください。(不足がある場合は販売店へご連絡ください)

※この製品は単管パイプへの取付け専用となっております。

※単管パイプは、フレーム/ホイスト/荷物の荷重に耐えられる強度がある事を確認してから取付けてください。

「フレーム取付け」

| | | |
|---|--|---|
| 1 | <p>●ホルダー設置前に必要な高さを単管パイプにマーク(印)をします。 ※取付間隔(上下間)は 380mm となります</p> | マジック等で目印線を引く |
| 2 | <p>●(1)で印をつけた単管パイプに、固定ホルダーを取付けます。 ※印をつけたカ所をU字型フックが覆うように固定します ※上下の固定用ホルダーを(右図)のように組立てます ※締め付けトルクは 80Nm/約 8~10kgです</p> <p>■上側: ・U字型ボルト×1 ・平ワッシャー×2 ・スプリングワッシャー×2 ・六角ナット×2</p> <p>■下側: ・U字型ボルト×1 ・平ワッシャー×2 ・スプリングワッシャー×2 ・六角ナット×2</p> | 単管パイプに固定ホルダーをし っかりと固定します |
| 3 | <p>●下側固定ホルダーとメインフレームを取付けます。 ※割りピンの先端は必ず左右に開いて固定してください (割りピンは長い方を使用します) ※メインフレームは2段階調整式ですので、作業に適した長さに変更する 事ができます</p> |  |
| 4 | <p>●上側固定ホルダーとサポートバーを取付けます。 ※割りピンの先端は必ず左右に開いて固定してください (割りピンは短い方を使用します)</p> |  |



●サポートバーとメインフレームを取付けます。

(右図参照)

(ボルト)→(メインフレーム)→(サポートバー)→(平ワッシャー)→(Sワッシャー)

→ナット

* Sワッシャー=スプリングワッシャー

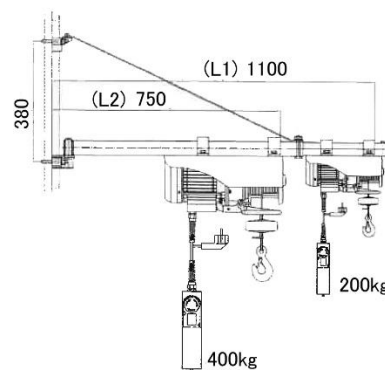


●適切な電動ホイストを選択し、画像(L1/L2)に配置して取付けます。

※フレームに取付ける際、電動ホイストが滑らないように割りてられた

5 固定スペーサーを使用する場合は特に注意が必要です

(電動ホイストを L1 に設置する場合は特に注意が必要です)



※組立て方法/パーツリストを参考に、内側フレームと外側フレームおよびサポートバーを組み立てます。

※組立ての最後には、全体的にマス締め/取付け点検をし、ホルダーと単管パイプがしっかりと固定されている事を確認してください。

※フレームは左右(90度)に首振りする事ができますが、これは必ずホルダーを固定してから行ってください。

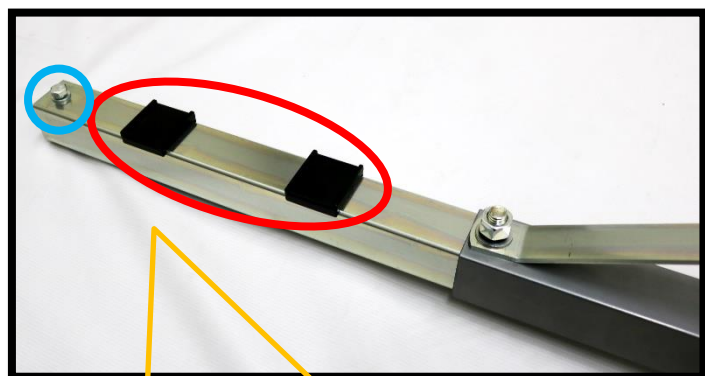
※電動ホイストを使用する際には、電動ホイストが滑らないようにホイストホルダーにしっかりと固定するか、固定用スペーサーを使用してください。(L1位置に設置する場合は特に注意が必要です)



※取り付け後、必ず動作確認をおこなってください。

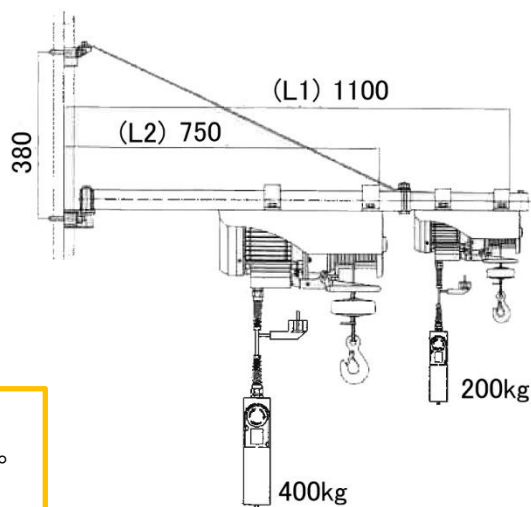
※無負荷の状態、少なくとも2回以上のテストを実施してください。(左右に90度の回転をさせてみる)

※その後、必要な重量まで段階的に荷重を追加していきテストを実施してください。

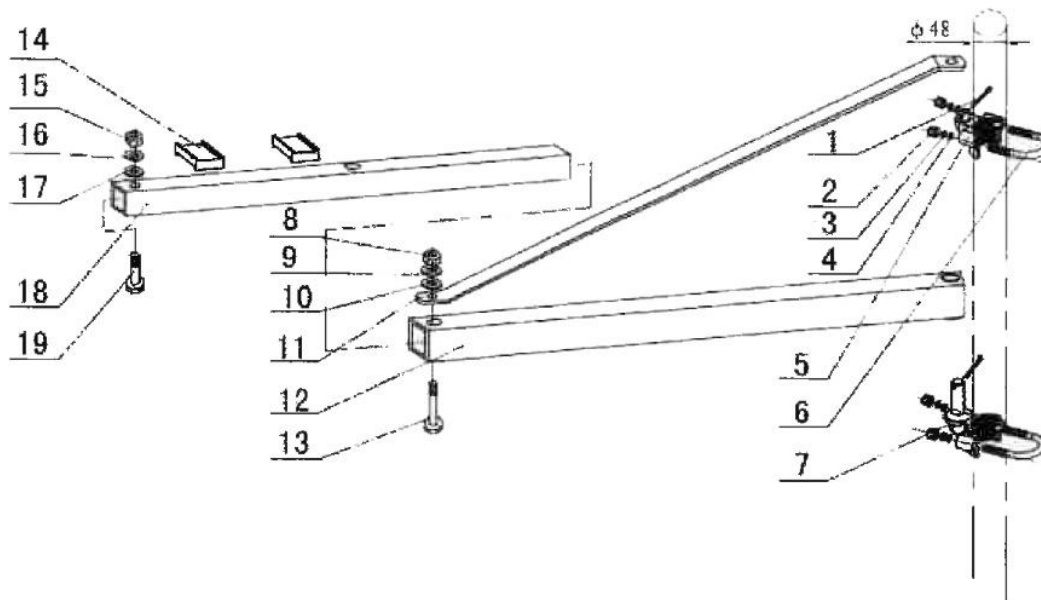
(テストの際に異常・不具合が見受けられた場合はすぐに使用を中止してください)



(L1)1100mmでの固定用スペーサー()設置例です。
先端のボルト()は必ず必要となります。



■ パーツリスト



| パーツ No | 名 称 | 数量 | パーツ No | 名 称 | 数量 |
|--------|----------------|----|--------|---------------|----|
| 1 | 割りピン(短)(長) | 2 | 11 | サポートバー | 1 |
| 2 | 六角ナット M10 | 4 | 12 | メインフレーム | 1 |
| 3 | スプリングワッシャー M10 | 4 | 13 | 六角ボルト M12×70 | 1 |
| 4 | 平ワッシャー M10 | 4 | 14 | 固定スペーサー | 2 |
| 5 | 固定金具(上側用) | 1 | 15 | 六角ナット M8 | 1 |
| 6 | U字型ボルト | 2 | 16 | スプリングワッシャー M8 | 1 |
| 7 | 固定金具(下側用) | 1 | 17 | 平ワッシャー M8 | 1 |
| 8 | 六角ナット M12 | 1 | 18 | 延長フレーム | 1 |
| 9 | スプリングワッシャー M12 | 1 | 19 | 六角ボルト | 1 |
| 10 | 平ワッシャー M12 | 1 | | | |

(パーツ一式)

